

取扱説明書

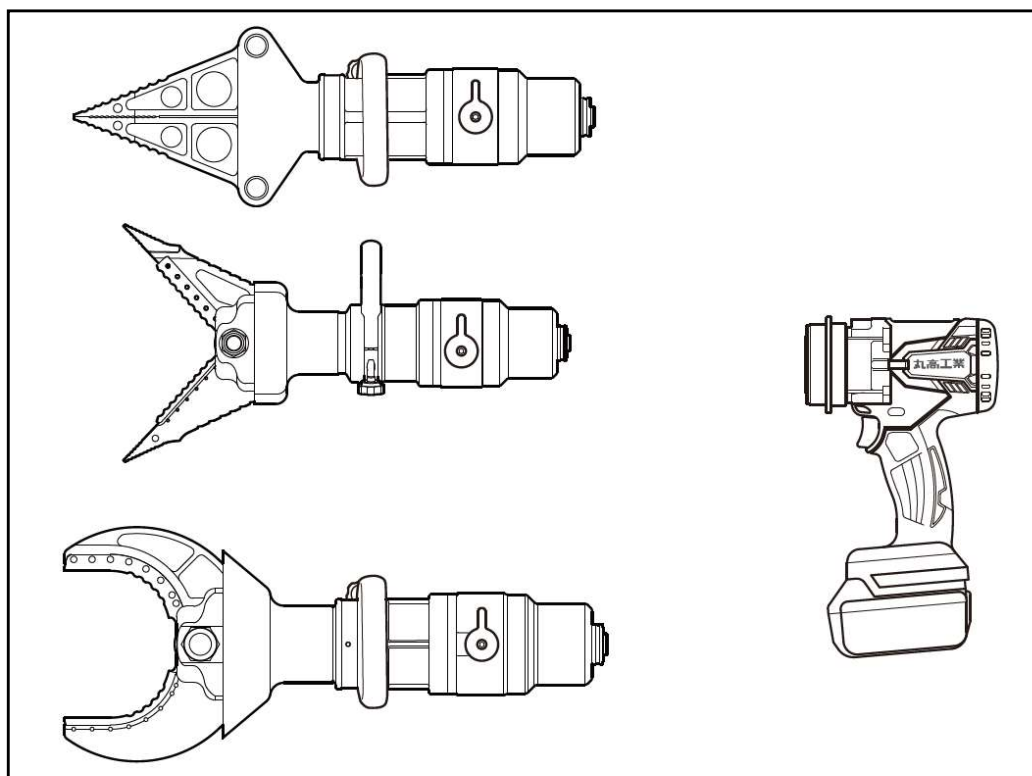
油圧切断工具・油圧拡張破碎工具

サイレントパワーカッター サイレントパワースプレッダー サイレントパワーコンビツール

工事は「静か」がアタリマエ



[サイレントシステム認定品]



このたびは「サイレントパワーカッター/サイレントパワースプレッダー/サイレントコンビツール」をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本商品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い申し上げます。改良のため、仕様および形状などを変更する場合がありますので、ご了承ください。なお、この取扱説明書は本体付属品ですので、いつでも見られるところに必ず保管してください。





株式会社 丸高工業


目 次


1.	はじめに	P- 2
2.	安全上のご注意	P- 2
3.	仕様	P- 7
4.	各部の名称	P- 8
5.	標準付属品	P- 9
6.	交換部品（別売部品）	P- 9
7.	先端工具の取り付け・取りはずし方法	P-10
	1 パワーユニットの取り付け	P-10
	2 パワーユニットの取りはずし	P-11
8.	操作方法	P-12
	1 バッテリー残容量表示について（パワーユニット本体）	P-12
	2 スイッチとスイッチロックについて	P-13
	3 バッテリーの取り付け・取りはずし方法	P-13
	4 サイレントパワーカッターの操作方法	P-14
	5 サイレントパワースプレッダーの操作方法	P-16
	6 サイレントパワコンビツールの操作方法	P-17
9.	切断材料と切断方法について	P-21
10.	定期メンテナンスについて	P-22
11.	よくある質問	P-23



1. はじめに

 **危険**、 **警告**、 **注意**、 **重要** の意味について

ご使用上の注意事項は  **危険**、 **警告**、 **注意**、 **重要** に区分しておりそれぞれの意味を表します。

 **危険** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫して高いことが想定される内容のご注意。

 **警告** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 **重要** : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

2. 安全上のご注意

- 火災、感電、物損やケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 以下の章に記載されている「安全上のご注意」にはサイレントシステム工具の一般的な安全上の注意事項がすべて記載されています。従って、記載されている中には、本商品に関連しない注意事項が含まれている可能性もあります。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- ② 充電器とバッテリーは取扱説明書に記載されている組み合わせで使用してください。
 - ・ 指定以外の組み合わせでは、破裂して傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。
- ③ 正しく充電してください。
 - ・ この充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し、火災のおそれがあります。



警告

- 温度が 10℃未満、又は温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
 - バッテリーは換気のよい場所で充電してください。
 - バッテリーを充電器で充電中、布などで覆わないでください。
破裂や火災のおそれがあります。
 - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。
- ④ **バッテリーの端子間を短絡させないでください。**
- 釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂のおそれがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電のおそれがあります。
- ⑥ **作業場の周囲状況も考慮してください。**
- 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中や、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙のおそれがあります。
 - 作業は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は事故のおそれがあります。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災のおそれがあります。
- ⑦ **保護めがねを使用してください。**
- 作業時は保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。
切削したものと粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
- ⑧ **製品の刃物など作動部には手を触れないでください。**
- 刃物の刃先を危険です。
 - 作動部は加工のための大きな力を出力して動くため危険です。
- ⑨ **次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。**
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
本体が動作して、けがのおそれがあります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
本体が作動して、けがのおそれがあります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
事故やけがの原因となるおそれがあります。

警告

⑫ バッテリーを火中に投下しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

⑬ 対象物を切断する際には切断片が飛ぶことがあります。

- ご使用時には周囲の安全に十分にご注意ください。また、作業者（機械の使用者）は対象物を切断する側へ顔や手など身体が近づくような姿勢を絶対にとらないでください。
切断片が飛んで負傷するおそれがあります。
- 対象物を短く切断する際に、切断の方向や対象物の材質などの条件によっては、切断片が異常に高く跳ねたり、強く飛んだりして負傷する恐おそれがあります。
本書の「操作方法」部分の記述をよくお読みください。

注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故のおそれがあります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具や充電器のコードに触れさせないでください。
けがのおそれがあります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
事故のおそれがあります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高いところ、または鍵のかかる所に保管してください。
事故のおそれがあります。
- 充電工具やバッテリーを、温度が40℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。
バッテリーの劣化の原因になり、発煙、発火のおそれがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
能力以上でのご使用は事故のおそれがあります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火のおそれがあります。

⑤ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行うような作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
けがのおそれがあります。



注意

⑥ きちんとした服で作業してください。

- だぶだぶの服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物はけがのおそれがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷する事がないように充電する場所に注意してください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業しないでください。

- 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
転倒してけがのおそれがあります。

⑨ 充電工具は注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
損傷した刃物を使用すると、けがのおそれがあります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
けがのおそれがあります。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、弊社に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には、交換してください。
感電やショートして発火するおそれがあります。

⑩ 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがのおそれがあります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
軽率な行動をとると、事故やけがのおそれがあります。
- 常識を働かせてください。
非常識な行動をすると、事故やけがのおそれがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。
事故やけがのおそれがあります。

注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落下、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火するおそれがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、弊社に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作して、けがをするおそれがあります。

⑭ 電動工具の修理は専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行わないでください。発火や、異常動作して、けがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ず弊社にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

3. 仕様

名 称	パワーユニット
型 式	MT-M1
長さ × 幅 × 高さ	155 mm × 80 mm × 270 mm
質 量	2.3 kg (バッテリー含む)
モーター	直流マグネットモーター
バッテリー	リチウムイオンバッテリー 18V

名 称	サイレントパワーカッター
型 式	MT-C1
長さ × 幅 × 高さ	591 mm × 256 mm × 182 mm
質 量	12.4 kg
最大切断力	738.0 kN (75.3 t)
開口幅	160 mm

名 称	サイレントパワースプレッダー
型 式	MT-S1
長さ × 幅 × 高さ	600 mm × 206 mm × 181 mm
質 量	11.9 kg
最大拡幅力	594.9 kN (60.7 t)
拡幅力	67.6 kN (6.9 t) (先端 25 mmの位置)
開口幅	505 mm

名 称	サイレントパワーコンビツール
型 式	MT-V1
長さ × 幅 × 高さ	566 mm × 300 mm × 180 mm
質 量	11.7 kg
最大拡幅力	567.1 kN (57.8 t)
最大潰し力	74.5 kN (7.6 t)
開口幅	300 mm
最大切断力	392.3 kN (40.0 t)

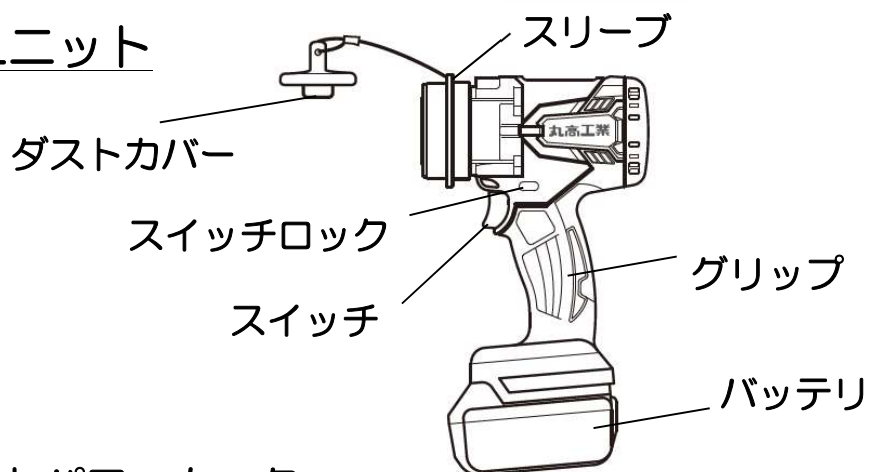


注意

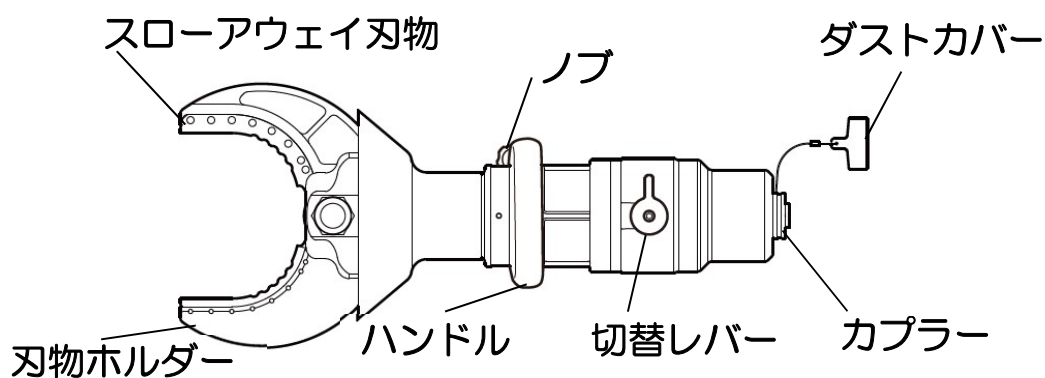
純正品以外のバッテリー・充電器は、機械の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。

4. 各部の名称

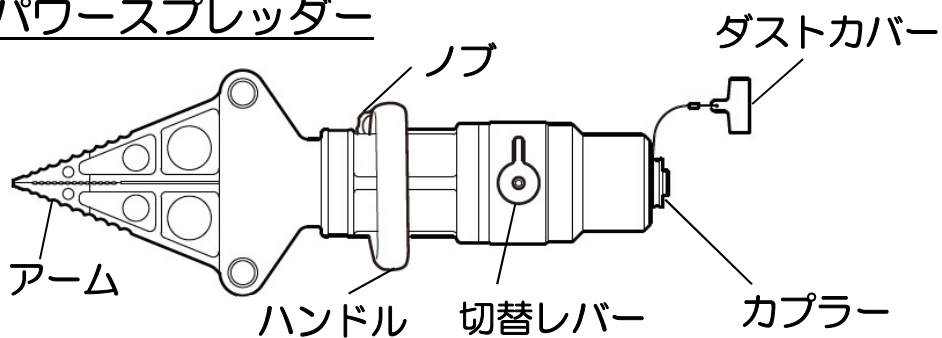
パワーユニット



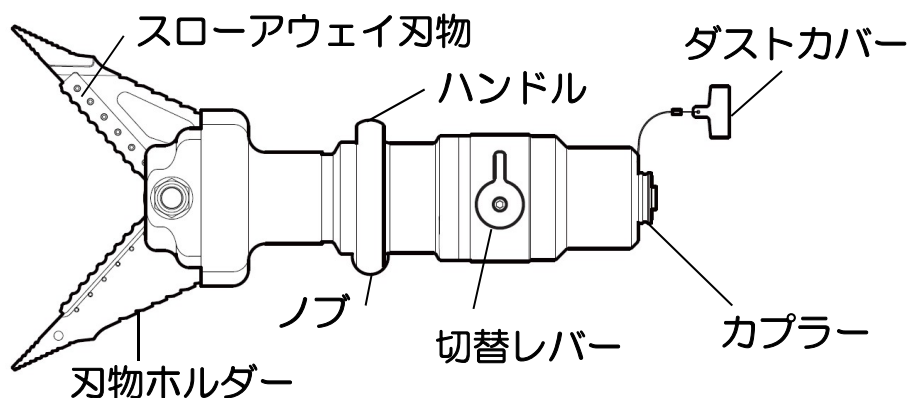
サイレントパワーカッター



サイレントパワースプレッダー



サイレントパワーコンビツール



5. 標準付属品

バッテリー：18V 6Ah×2 個



発注コード： _____

急速充電器



発注コード： _____

グリップヘキサゴンレンチ
(サイレントパワーカッター用)



発注コード： _____

グリップヘキサゴンレンチ
(サイレントパワーコンビツール用)



発注コード： _____

6. 交換部品（別売部品）

スローアウェイ刃物&専用取り付けネジ（8本）
(サイレントパワーカッター用)



発注コード： _____

スローアウェイ刃物&専用取り付けネジ（6本）
(サイレントパワーコンビツール用)



発注コード： _____

重要

スローアウェイ刃物の交換に関して

- ・スローアウェイ刃物の交換には、適切な取りはずし、取り付けの作業を必要とするため、弊社にお申し付けください。

7. 先端工具の取り付け・取りはずし方法

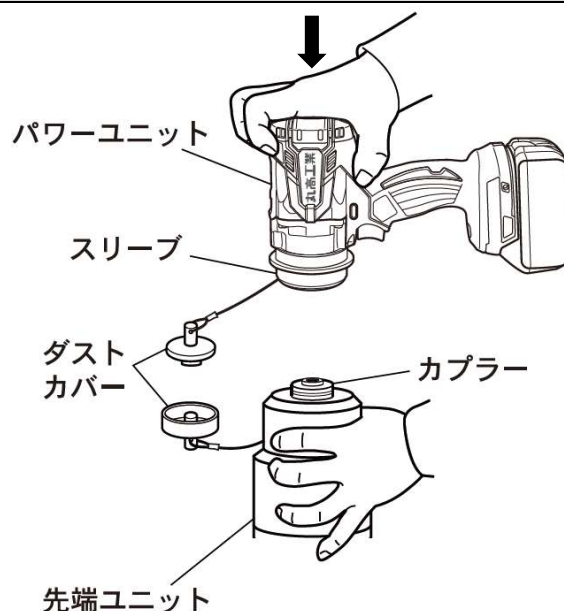


機材を使用しない時、先端工具を交換する時、操作者が交代するために手渡しする時には、安全のため必ずスイッチロックをロックしてください。
ロックを怠ると不意に動作し、事故の原因となるおそれがあります。

1 パワーユニットの取り付け

- ① 各接続部の黒いゴム製のダストカバーをはずしてください。
- ② 右図のように先端工具およびパワーユニットをしっかりと保持し、パワーユニットのスリーブを先端工具のカプラーにしっかりと「カチッ」という接続音ができるまで押し込んでください。
- ③ パワーユニット側、先端工具側のダストカバーを連結してください

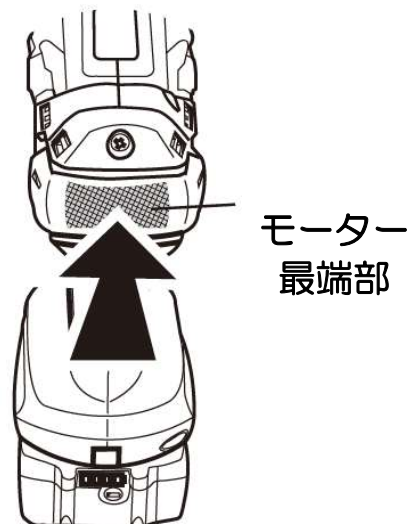
② パワーユニットの取り付け



重要

パワーユニットのグリップ（握り）部を持ったまま押し込んだ場合、パワーユニットが傾斜し、取り付けできない場合があります。
必ずモーター最端部を保持し「まっすぐに」押し込むようにしてください。

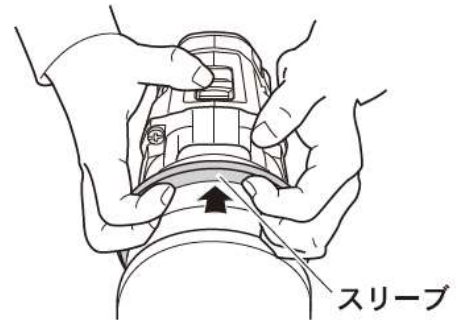
最端部を保持し「まっすぐに」押し込む



2 パワーユニットの取りはずし

- ① 連結したダストカバーをはずしてください。
- ② 右図のように「スリーブ」をパワーユニット側（手前側）に両手で奥まで引いてください。先端工具との接続が解除されます。

② パワーユニットの取り付け



警告

先端工具が倒れることのないよう、接続部が解除されたら速やかに先端工具を保持してください。

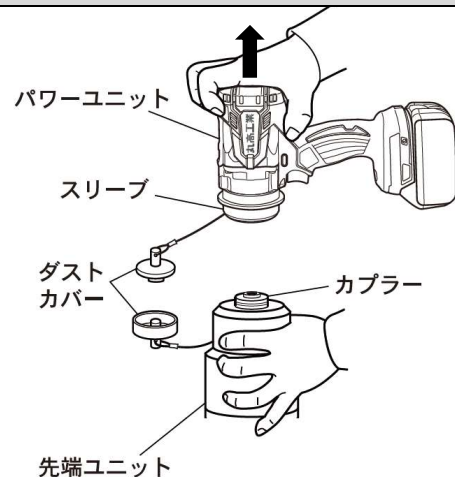
- ③ モーター最端部を片手で「まっすぐに」引き抜いてください。

重要

パワーユニットからの取りはずしは、先端工具がどのような作業位置にあっても行うことができます。

- ④ 各接続部にダストカバーを必ず接続してください。

③ 「まっすぐに」引き抜く



警告

パワーユニットのグリップ（握り）部を持ったままパワーユニットを取りはずそうとした場合、パワーユニットが傾斜し、先端工具側との間で「引っ掛かり」が生じる可能性があります。

不意な先端工具の脱落により、事故の原因となるおそれがあります。

また、スイッチロックをしていない場合、不意に動作するおそれがありますので、取りはずしの際は必ずモーター最端部を引き上げて下さい。

注意

機材を使用しない際は、必ず各接続部にダストカバーを装着してください。

8. 操作方法

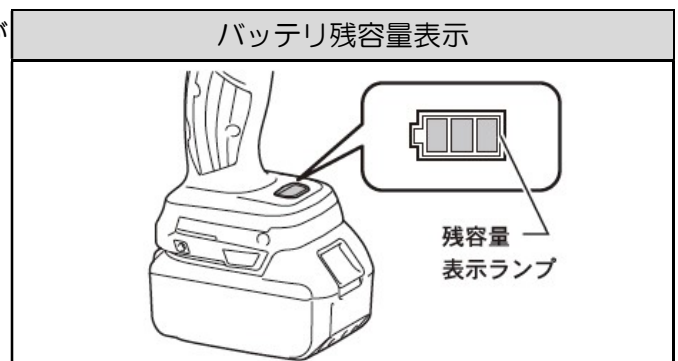
警告




- 各先端工具には、操作中に過度の圧力が生じた際にこれを開放する「リリース弁機構」を備えています。「リリース弁機構」が作動すると作動音が明らかに変化しますので、操作を中止してください。
スイッチを引き続けた場合。モーターが故障するおそれがあります。
- 作動時間は 1 回で約 60～80 分、またはバッテリー 3 個までとしてください。
過度の使用は、モーターの故障の原因となるおそれがあります。
- 操作中に機体が振られ、パワーユニットが対象物等に接触した際は、一旦作業を中止し、対象物に掛け直してから作業を再開してください。
パワーユニットに外圧が掛かった状態で作業をし続けると、該当部品が故障するおそれがあります。
- パワーユニットを机や床に置く時は、必ず横にして、側面が接地するように置いてください。
バッテリーの下面が床や机等に接触するように置くと、内部部品の破損のおそれがあります。

1 バッテリー残容量表示について（パワーユニット本体）

- ① スwitchの引き金を引くと、残容量表示ランプが点灯し、バッテリーの残容量をお知らせします。

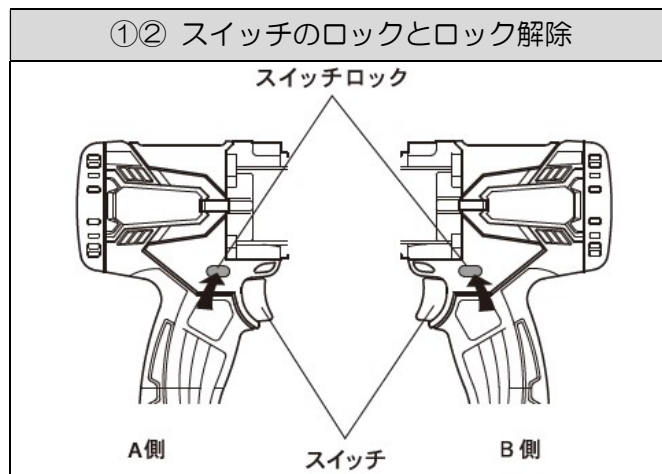
残容量表示ランプはスイッチの引き金を放してから約 1 分で消灯します。



残容量表示ランプの点灯状態とバッテリー残容量	
点灯状態	バッテリーの残容量
	残容量約 50%以上
	残容量約 20%～50%
	残容量約 20%未満

2 スイッチとスイッチロックについて

- ① モーター部「A側」からスイッチロックを押ししてください。ロックが解除されて、スイッチを引くことができます。
- ② モーター部「B側」からスイッチロックを押ししてください。スイッチはロックされて動きません。

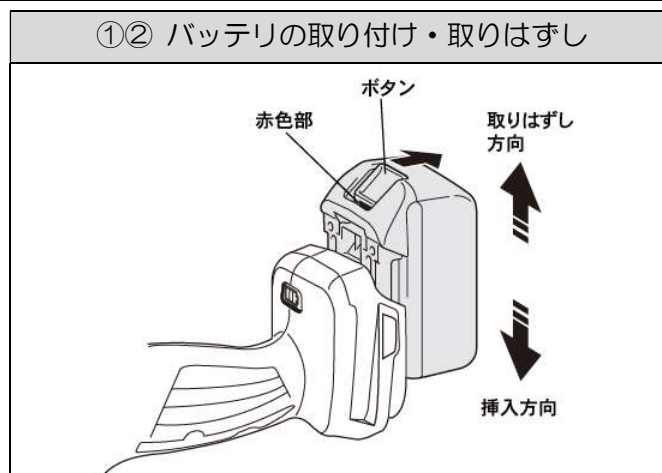


警告

- モーター部へバッテリーを挿入する前に、必ずスイッチを何度か引いて、指を放せばスイッチが元へもどることを確認してください。
正しく元にもどらない場合には、事故の原因となるおそれがあります。
大変危険ですので、直ちに使用をやめ、弊社に修理をご用命ください。
- 機材を使用しない時、先端工具を交換する時、操作者が交代するために手渡しする時には、安全のため必ずスイッチロックをロックしてください。
ロックを怠ると不意に動作し、事故の原因となるおそれがあります。

3 バッテリーの取り付け・取りはずし方法

- ① バッテリーを取りはずすときは、バッテリー正面のボタンを押しながらバッテリーをスライドさせると取りはずせます。このときにバッテリーをしっかり保持して取りはずしてください。
- ② バッテリーを機械に取り付ける場合は、バッテリー正面のボタンを押しながらバッテリーをスライドさせて奥まで挿入してください。



注意

ボタン上部の赤色部分が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部分が見えなくなるまで奥まで確実に挿入してください。

4 サイレントパワーカッターの操作方法

① サイレントパワーカッターにパワーユニットを接続してください。(P. 10 参照)

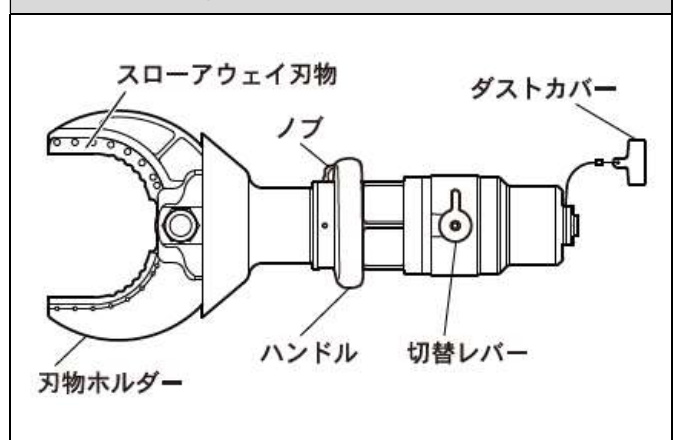
② ハンドルを任意の位置で固定してください。
ノブを緩めることでハンドルを回転させることが可能です。ノブを締め込むことでハンドルを固定します。

③ パワーユニットのスイッチロックを解除します。
(P. 11 参照)

④ 右図のように切替レバーで刃物の開閉方向を選択します。

⑥ パワーユニットのスイッチを引くことで刃物が作動します。

② ハンドルの位置調整



④ 刃物の開閉方向の変更



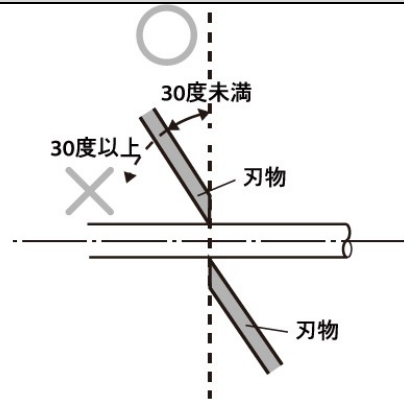
警告

- スイッチを引く際は、必ずいっぱいまで引いてください。
スイッチをいっぱいまで引かない状態で使用すると、モーターが故障するおそれがあります。
- 硬い対象物（ピアノ線、PC 鋼、平鋼など）は、サイレントパワーカッターでは絶対に切断しないでください。
刃物の欠けや割れによる重大な事故の原因となり大変危険です。
- 対象物を短く切断する場合や、対象物の抗張力が高い（硬い）場合、切断片が高く跳ねたり強く飛んだりして負傷するおそれがあります。
作業者は、保護メガネを装着するとともに、対象物両端を保持する、対象物を布で覆うなど、十分に注意して作業を行ってください。
また、「インチング※（スイッチを小刻みに操作し、刃物を少しずつ動かす事）」を行い、機体の傾き、刃物の開きの発生に注意してください。
- ※インチングはスイッチを「いっぱいまで引いて、すぐに指を離す」としてしてください。スイッチをストローク途中までしか引かずにモーターを回し続けた場合、故障の原因となる場合があります。
- 上向きで切断作業を行わないでください。
切断片が刃物ホルダーの根本の可動部に入ってしまうと、機体の破損のおそれがあります。

警告

切断作業時に刃物間の開き、ねじれが発生しないように注意してください。特に、対象物に刃物が切り進んでいないまま傾いている場合には、傾き角度 30 度程度を目安に作業を中断し、新たな場所・方向に掛けなおすなどしてください。刃物の開きやねじれは、刃物の欠けや割れによる重大な事故の原因となり、大変危険です。

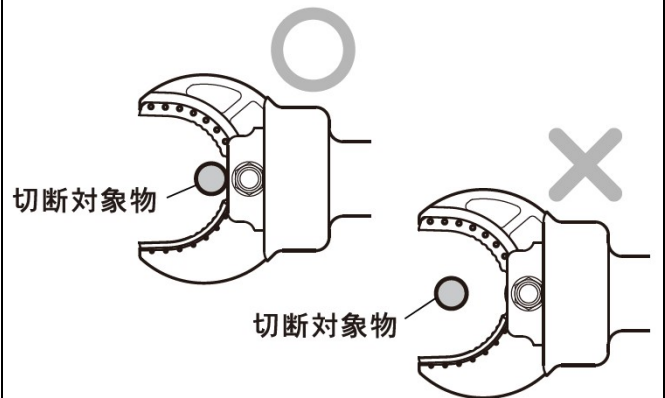
傾き 30 度の目安



注意

対象物に対して直角に刃が当たるようにしてご使用ください。また、切断時には対象物を刃渡り部分のできるだけ奥にセットしてください。切断の途中で機体全体が傾き、更に刃物にねじれが生じ、対向する 2 枚の刃物が開いてしまう場合には安全と破損防止のため、一旦停止、開放して、対象物に対して直角に切断できるように始めから当てなおしてください。

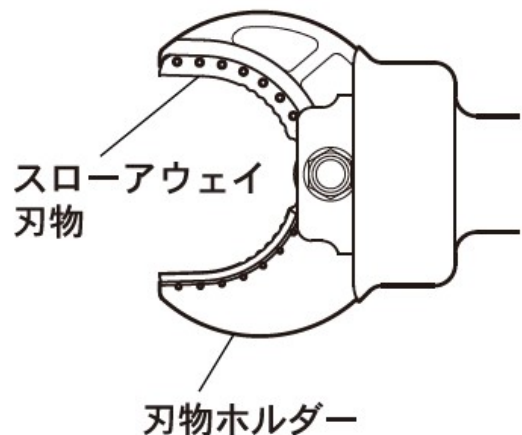
奥にセットして、直角に切断する



重要

- ① スローアウェイ刃物の交換
 - ・スローアウェイ刃物の交換には、適切な取りはずし、取り付けの作業を必要とするため、弊社にお申し付けください。
- ② スローアウェイ刃物の取付ボルトの増し締めについて
 - ・重負荷の切断作業後、または定期的（月に 1 回程度）に付属の「グリップヘキサゴンレンチ」でスローアウェイ刃物の取付ボルトを緩みがない程度に締め込んでください。
 - ・ボルトの穴にごみが詰まっている場合は、清掃後に増し締めを行ってください。
- ③ 刃物ホルダーの交換
 - ・刃物ホルダーの交換には、「スローアウェイ刃物」の交換を伴うため、弊社にお申し付けください。

刃物の交換について



5 サイレントパワースプレッダーの操作方法

① サイレントパワースプレッダーにパワーユニットを接続してください。(P.10 参照)

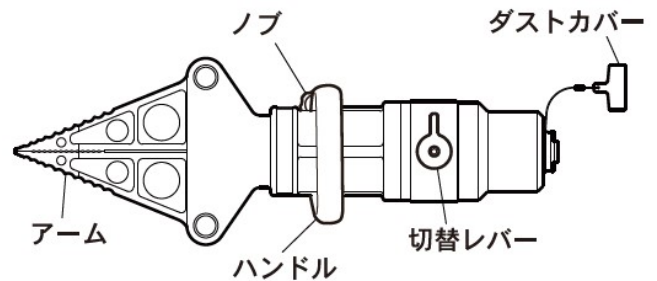
② ハンドルを任意の位置で固定してください。
ノブを緩めることでハンドルを回転させることが可能です。ノブを締め込むことでハンドルを固定します。

③ パワーユニットのスイッチロックを解除します。(P.11 参照)

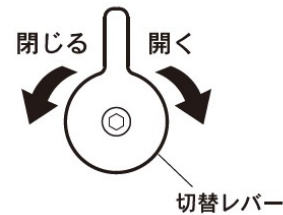
④ 右図のように切替レバーでアームの開閉方向を選択します。

⑥ パワーユニットのスイッチを引くことでアームが作動します。

② ハンドルの位置調整



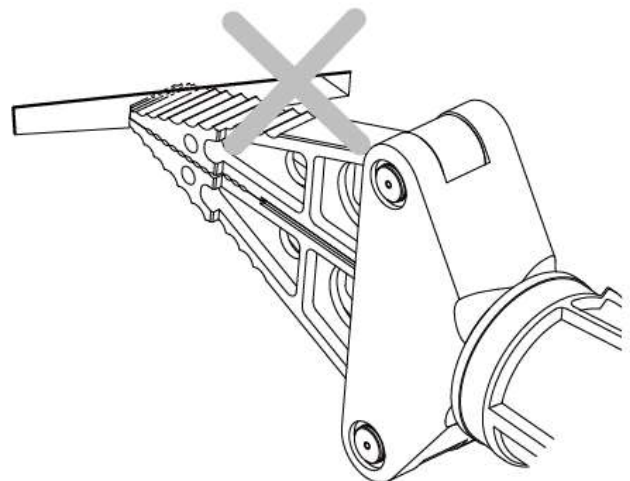
④ アームの開閉方向の変更



警告

- スイッチを引く際は、必ずいっぱいまで引いてください。
スイッチをいっぱいまで引かない状態で使用すると、モーターが故障するおそれがあります。
- サイレントパワースプレッダーの先端部は、均等に力が掛かるように、まっすぐに対象物へ差込んでください。
スプレッダーの先端を斜めに「片掛け」して使用すると、先端部が折損して飛ぶことがあり、大変危険です。

「片掛け」にかんして



6

サイレントコンビツールの操作方法

① サイレントパワーコンビツールにパワーユニットを接続してください。(P.10 参照)

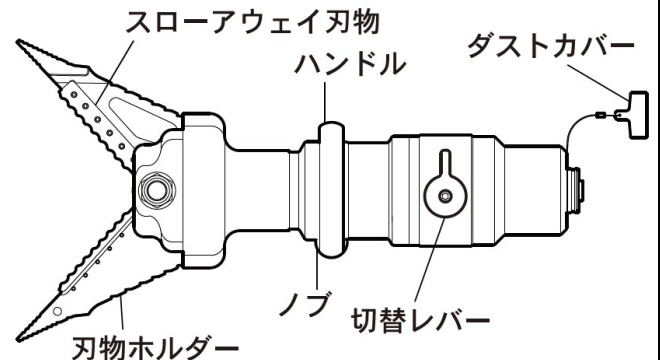
② ハンドルを任意の位置で固定してください。
ノブを緩めることでハンドルを回転させることが可能です。ノブを締め込むことでハンドルを固定します。

③ パワーユニットのスイッチロックを解除します。(P.11 参照)

④ 右図のように切替レバーで刃物ホルダーの開閉方向を選択します。

⑥ パワーユニットのスイッチを引くことで刃物ホルダーが作動します。

② ハンドルの位置調整



④ 刃物の開閉方向の変更



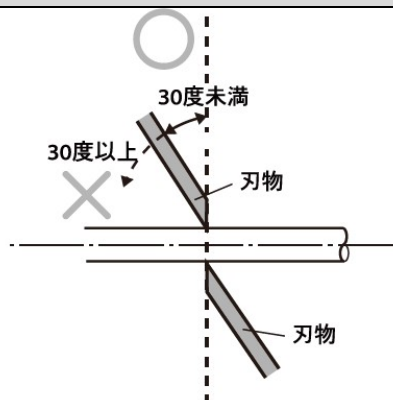
警告

- スイッチを引く際は、必ずいっぱいまで引いてください。
スイッチをいっぱいまで引かない状態で使用すると、モーターが故障するおそれがあります。
- 硬い対象物（ピアノ線、PC 鋼、平鋼など）は、サイレントパワーカッターでは絶対に切断しないでください。
刃物の欠けや割れによる重大な事故の原因になります。
- 対象物を短く切断する場合や、対象物の抗張力が高い（硬い）場合、切断片が高く跳ねたり強く飛んだりして負傷するおそれがあります。
作業者は、保護メガネを装着するとともに、対象物両端を保持する、対象物を布で覆うなど、十分に注意して作業を行ってください。
また、「インチング※（スイッチを小刻みに操作し、刃物を少しずつ動かす事）」を行い、機体の傾き、刃物の開きの発生に注意してください。
- ※インチングはスイッチを「いっぱいまで引いて、すぐに指を離す」としてしてください。スイッチをストローク途中までしか引かずにモーターを回し続けた場合、故障の原因となる場合があります。
- 上向きで切断作業を行わないでください。
切断片が刃物ホルダーの根本の可動部に入ってしまうと、機体の破損のおそれがあります。

警告

切断作業時に刃物間の開き、ねじれが発生しないように注意してください。特に、対象物に刃物が切り進んでいないまま傾いている場合には、傾き角度 30 度程度を目安に作業を中断し、新たな場所・方向に掛けなおすなどしてください。刃物の開きやねじれは、刃物の欠けや割れによる重大な事故の原因となり、大変危険です。

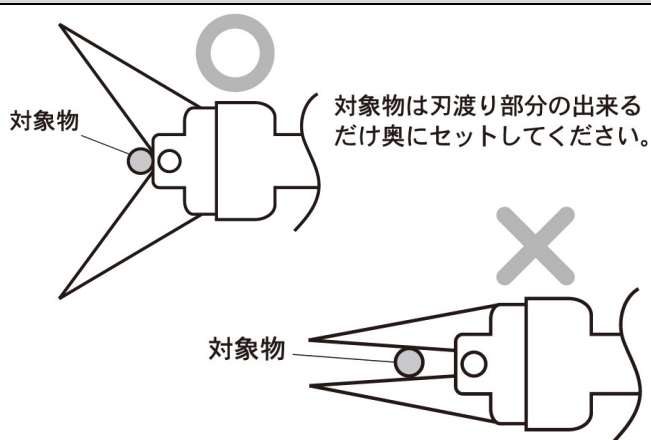
傾き 30 度の目安



注意

対象物に対して直角に刃物ホルダーの刃物部分が当たるようにしてご使用ください。また、切断時には対象物を刃渡り部分のできるだけ奥にセットしてください。

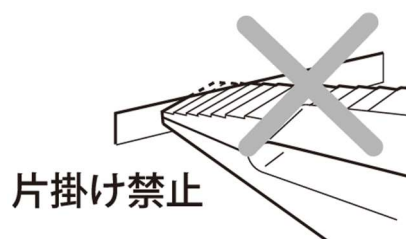
カッターとしての使用上の注意



警告

・刃物ホルダーのアーム先端を図のように「片掛け」をして使用しないでください。先端部が折れて飛散することがあり、大変危険です。対象物に対して均一に差し込んでお使いください。

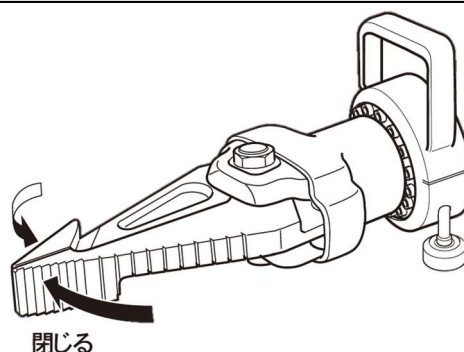
「片掛け」にかんして



注意

刃物ホルダーが閉じた状態から始動させる。

スプレッターとしての使用上の注意

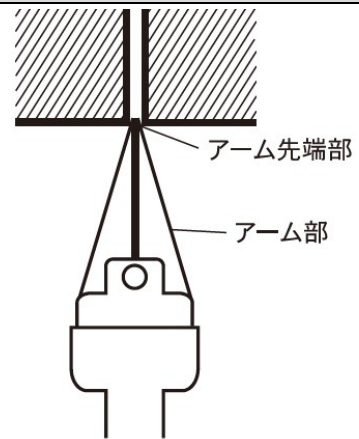


- ⑦ 刃物ホルダーのアーム先端部は拡張作業のきっかけ作り（隙間作成）にのみ使用してください。
- ※ 刃物ホルダーアーム先端部とは、先端からおよそ25mm 以内の範囲
刃物ホルダーアーム部とは、先端からおよそ25mm 以降の部分

⚠ 注意

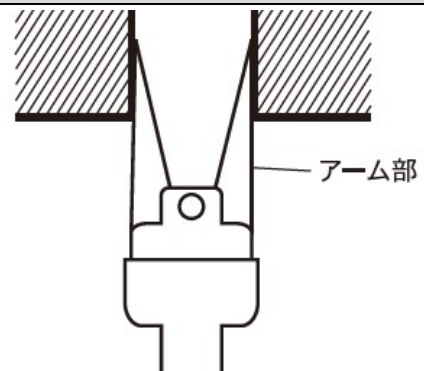
刃物ホルダーのアーム先端部で拡張作業を行うと、アームの先端が曲がったり、欠けたりする恐れがあります。

⑦ 拡張作業のきっかけ作り



- ⑧ 拡張作業は、刃物ホルダーのアーム部を空間にさし入れて行ってください。

⑧ 拡張作業



- ⑨ 対象物を持ち上げ後、切替レバーを「閉じる」側に切り替え、スイッチを引くことで対象物を降下させることができます。（切替レバーを「閉じる」側に切り替えただけでは対象物は降下しません）安全を図るため、スイッチを「インチング※（小刻み操作）」することで対象物の降下を緩やかにする事が出来ます。

⑨ 持ち上げ作業について



- ※インチングはスイッチを「いっぱいまで引いて、すぐに指を離す」としてください。
スイッチをストローク途中までしか引かずにはモーターを回し続けた場合、故障の原因となる場合があります。

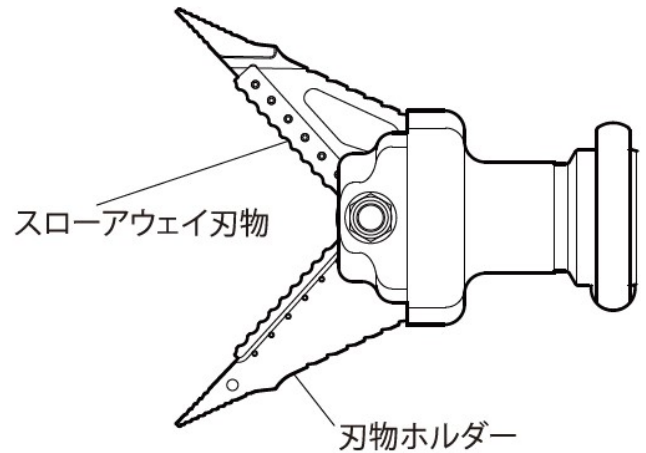
⚠ 警告

持ち上げ作業を行う際は、必ず平らな場所で行ってください。また、持ち上げ後は枕木など介在物を設置するなど、対象物の保持を図ってください。平らな場所で持ち上げをせずバランスを崩したり、介在物を設置せず保持を怠り対象物が不意に落下した場合は、重大な事故の原因となる恐れがあります。

重要

- ① スローアウェイ刃物の取付ボルトの増し締めについて
 - 重負荷の切断作業後、または定期的（月に1回程度）に付属の「グリップヘキサゴンレンチ」でスローアウェイ刃物の増し締めを行ってください。
 - ボルトの穴にごみが詰まっている場合は、清掃後に増し締めを行ってください。
- ③ 刃物ホルダーの交換
 - 刃物ホルダーの交換には、「スローアウェイ刃物」の交換を伴うため、弊社にお申し付けください。

刃物の交換について



9. 切断材料と切断方法について

○ 切断適応材

規格		サイズ
丸鋼	鉄筋コンクリート用棒鋼（JIS 規格品）	～ Φ18
異形鉄筋	鉄筋コンクリート用異径鋼棒（JIS 規格品）	～ D-13
LGS 補強材	壁下地材（一般品）	100 型 100×50×20×1.2
LGS スタッド	壁下地材（JIS 規格品）	WS-65 65×45×0.8
LGS 補強材	壁下地材（JIS 規格品）	WLG 65×30 65×30×10×2.3
リップ溝形鋼	一般構造用軽量形鋼（JIS 規格品）	～ C100×50×20×3.2
丸パイプ(鉄)	機械構造用炭素鋼鋼管（JIS 規格品）	～ Φ31.8×1.6
角パイプ(鉄)	一般構造用角型鋼管（JIS 規格品）	～ □-60×60×2.3
L 字アングル(鉄)	等辺山形鋼（JIS 規格品）	～ L-50×50×6
フラットバー(鉄)	一般構造用圧延鋼材（一般品）	～ t6×50
単管パイプ	一般構造用炭素鋼鋼管（JIS 規格品）	～ Φ48.6×2.3

△ 非推奨

規格		サイズ
丸パイプ(ステン)	構造用ステンレス鋼管（一般品）	Φ32×1.5
L 字アングル(ステン)	等辺山形鋼（JIS 規格品）	L40×40×3

× 切断不適応材

規格		サイズ
H ビーム(鉄)	H 型鋼（JIS 規格品）	H100×100×6×8 ～
チャンネル(鉄)	溝形鋼（JIS 規格品）	100×50×5×7.5 ～
角パイプ(鉄)	一般構造用角型鋼管（JIS 規格品）	□100×100×2.3 ～
L 字アングル(鉄)	等辺山形鋼（JIS 規格品）	L100×100×7 ～
フラットバー(ステン)	ステンレス鋼板（一般品）	t6×50 ～
SGP 管、ガス管	配管用炭素鋼管（JIS 規格品）	80A(Φ89.1×t4.2) ～

注意

- ・切断材料と切断方法については、付属資料「SP カッター切断可能材料一覧」を必ず確認下さい。記載内容を守らず誤ったまま使用すると、機械の故障の原因となります。
- ・上表に記載されていない材料を切断したい場合、弊社までお問い合わせください。

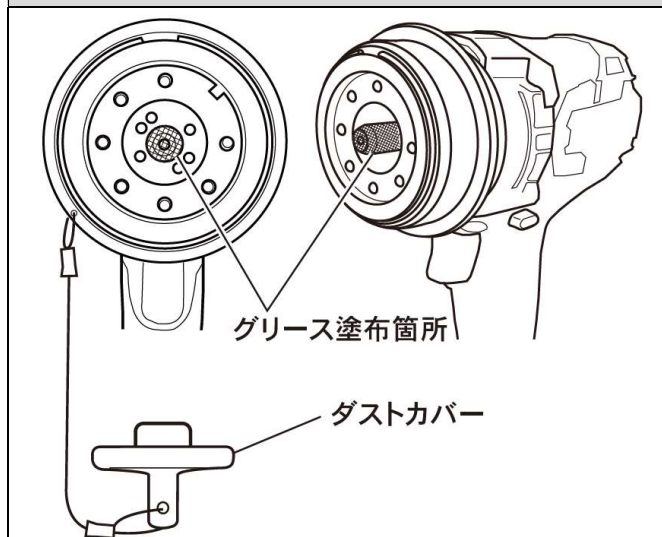
10. 定期メンテナンスについて

- ① パワーユニット接続部の斜線部分（右図）のピンに、綿棒などを使用し定期的にグリースを根元までしっかりと塗布してください。

警告

- グリースを塗布する際、液状ではなく固形状のグリースをご使用ください。スプレータイプの潤滑剤には洗浄効果がある場合があります、油分を除去してしまい、故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。
- グリースを塗布した直後は、鉄粉やゴミなどが付着しやすいため、必ずダストカバーを装着し保管してください。

① パワーユニット接続部のグリース塗布について

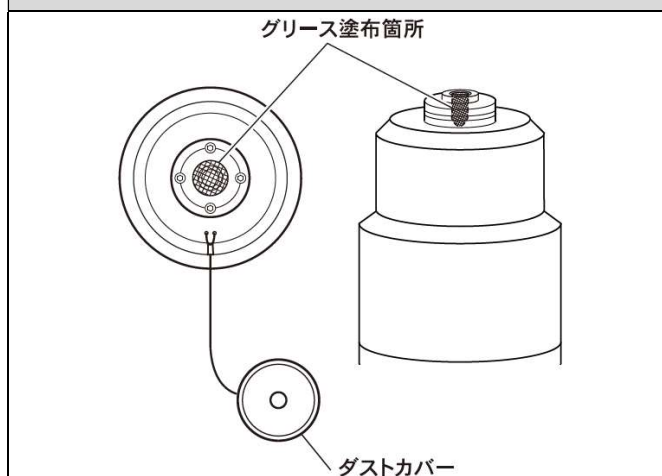


- ② 先端ユニット接続部の斜線部分の穴に定期的にグリースを綿棒などに使用し、根元までしっかりと塗布してください。

警告

パワーユニット側、先端ユニット側の接続部が乾いた状態で使用し続けると、錆が発生し着脱できなくなるおそれがあります。

② 先端ユニット接続部のグリース塗布について



重要

① グリースを塗布する目安

- パワーユニット側、先端ユニット側の接続部が乾いた状態になったとき。
- パワーユニットと先端ユニットの着脱が硬くなったとき。

※固形状グリースはリチウム系のグリースを使用してください。

② 機材のオーバーホールに関して

本製品は油圧式機材のため、内部に樹脂製のシールパッキン類を使用しています。

それらの経年変化による機材の能力低下防止のために、定期的にオーバーホール（有料）を推奨いたします。

11. よくある質問

	よくある質問	回答
1	バッテリー1個あたりの動作時間はいくらか？	作業内容と切断対象によりますが、20～25分程度が目安となります。
2	バッテリーを交換しながらの連続稼働時間はいくらか？	60～80分、またはバッテリー3個までとしてください。 (12ページに記載)
3	サイレントパワーカッターでは何が切れるのか？ 切断してはいけない材料などはあるのか？	17ページの「9. 切断材料と切断方法について」を確認してください。 記載がない場合は弊社までお問い合わせください。

×E

×E

×E

お問合せ先

丸高工業製品についてのお問い合わせ・ご相談は弊社までお気軽にご連絡ください。
製品についてお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させて頂くために、
あらかじめ下記の事項をご確認のうえ、ご連絡ください。

① 製品の名称

② 型式

お問い合わせ、ご相談は下記までご連絡ください。

- 本社
〒140-0014 東京都品川区大井一丁目47番1号 NTビル3階
- サイレントシステムセンター
〒171-0043 東京都豊島区要町二丁目19番6号 第16丸彌ビル
- 相談窓口
 - ・電話番号
03-6429-7172
 - ・受付時間
月～金 9:00～17:00（ただし、祝日・夏季／年末年始休暇除く）
 - ・ホームページ
URL：<https://www.marutaka-kogyo.co.jp/>



株式会社 丸高工業